

令和8年度国設酸性雨測定所PM2.5計保守管理
業務委託仕様書

本仕様書は、長崎県（以下「甲」という。）が発注する令和8年度国設酸性雨測定所PM2.5計保守管理業務（以下「業務」という。）について、受託者（以下「乙」という。）が遵守しなければならない仕様を示すものである。

1 業務概要

本業務は、測定機等の精度を維持するため定期点検業務及び緊急点検業務を行う他、校正及び調整等所要の業務を行うものとし、業務の実施にあたっては、原則として環境省監修の「環境大気常時監視マニュアル(第6版)〈平成22年3月発行〉」（以下「マニュアル」という。）に準じるものとする。

ただし、甲が別途実施方法を指定する場合は、その指定した方法に従うものとする。

なお、定期点検業務及び緊急点検業務他所要の業務の内容については次の(1)から(2)までのとおりとする。

(1)定期点検業務

乙は、測定機等の精度を維持し、常に測定機等の良好な稼動状態を保つため、別紙1に定める項目について、同じく別紙1に定める頻度で保守点検を実施する。

(2)緊急点検業務

乙は、定期点検業務以外に、測定機等の不具合及び測定値の異常等が発生した時は、甲の指示に従って測定機等の作動状況の確認、調整及び修理等を行う。

2 業務期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日

3 業務場所

国設対馬酸性雨測定所 対馬市厳原町北里字大多羅 上見坂公園内

4 測定機等の名称

PM2.5計（微小粒子状物質自動測定機） 紀本製PM-712

5 業務実施計画の作成及び提出

乙は、定期点検業務に係る年間の業務実施計画について、本業務の契約締結後14日以内に、様式第1、様式第1－2により甲へ提出するものとする。

ただし、最初の定期点検業務については契約締結後、直ちに実施するものとする。

6 業務結果報告書の作成及び提出

乙は、本業務の実施結果について、各月ごとに結果報告書（様式第2、様式第2－2、様式第2－3）を作成し、業務実施月の翌月末日までに甲に提出すること。

ただし、緊急点検業務を実施したときは様式第2－4により速やかに甲に報告すること。なお、令和9年3月分の業務結果報告書については、令和9年3月31日までに提出すること。

7 物品の調達

- (1) 測定機等の保守管理業務に必要な記録紙・ろ紙・インク・試薬・検量液及び定期点検交換部品等の物品については、乙の責任において調達する。
- (2) 故障等不測の事態により、交換部品が必要となった場合には、甲乙間で協議のうえ、交換部品を調達するものとする。

8 不用物の処分

測定機等の保守管理業務を実施する過程で生じた不用物等については乙の責任において適正に処理すること。

9 車輛・機器

測定機等の保守管理業務を実施するにあたり必要な車輛及び工具等については、乙が準備するものとする。

10 記録紙の回収及び測定値の確認

乙は、毎月前月分の記録紙（チャート紙）を回収するとともに、測定値の確定に関するチェックを行い、長崎県環境保健研究センターに報告すること。

報告は月に1回、前月分実績を記入した様式第3-1、第3-2、第3-3により長崎県地域環境課及び長崎県環境保健研究センターにデータ（excel）で提出すること。

（データは、メールによる送信でも可とする。）

11 その他遵守事項

- (1) 乙は、甲との業務連絡を常時行える状態にしておくこと。
- (2) 乙は、業務遂行時においては、設置場所の施設及び土地管理者の指示事項に従うこと。
- (3) 乙は、測定機等の保守管理業務を行う場合には、測定所の内外を常に整理整頓し、清潔に保つこと。

12 協議

この仕様書に定めのない事項については、甲乙間で協議のうえ決定する。

様式第 1

令和 年 月 日

長崎県知事 様

受託者

住所

氏名

印

国設酸性雨測定所PM2.5計保守管理業務に係る
年間実施計画について

令和8年度国設酸性雨測定所PM2.5計保守管理業務に係る実施計画書を提出します。

記

1 実施計画

様式第 1－2 のとおり

別紙 1

点検項目等

PM2.5計

項 目	頻 度	回数
流量制御部・吸引ポンプ・除湿装置の動作点検 流量の点検と流量確認調整 ろ紙の点検 ろ紙の残留確認 大気導入口及び分粒装置の点検 粒子捕集部・線源部・表示部の点検 ろ紙の交換 ゼロ確認とスパン調整	1 ヶ月	計12回
粒子捕集部・検出部の分解洗浄、清掃 除湿装置・線源セル・流量調整弁の洗浄、清掃	3 ヶ月	
温度・湿度・気圧計の表示値確認 流量制御部の実流量確認と調整	6 ヶ月	
粒子捕集部の分解洗浄 線源及び格納部の予防保全交換 検出部の清掃 流量計の流量確認と調整 吸引ポンプの分解点検と消耗品交換 温度・湿度・気圧計の表示値確認と消耗品交換 除湿装置の消耗品交換 出力部電圧値の確認と調整 空試験の実施と流量制御部の実流量確認と調整	1 年	計1回
通常点検	合計	13回

※圧力センサ、温湿度センサ、流量センサ、ヘッドアンプ電磁弁、流量制御弁、吸引ポンプ、テープ断センサ交換

※ほか、緊急点検業務として1回行うことを想定している

様式第1-2

国設酸性雨測定所PM2.5計保守管理業務実施計画（令和 年 月分）

[illegible]

※ 定期点検業務の点検項目頻度別に下記の記号を用いて記載すること

1年：◎ 6ヶ月：● 3ヶ月：○ 1ヶ月：△

様 式 第 2

令 和 8 年 度 国 設 酸 性 雨 測 定 所 PM2.5 計

保 守 管 理 業 務 結 果 報 告 書

(令 和 年 月 分)

令 和 年 月 日

長 崎 県 知 事 様

受 託 者 住 所

氏 名

印

様式第2-2 測定機等稼働状況

機器名 PM2.5計

No	測定局	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	対馬																																
特記事項																																	
局名		開始月日	時刻	終了月日	時刻	記 事																										区 分	
対馬																																	

保守点検実施日：○ 機器非稼働期間：－ 特記事項区分：①欠測原因 ②高濃度などに対するコメント を記入すること。

様式第2-3 測定機等稼働状況

機器名 PM2.5計

局 名	開始月日	時刻	終了月日	時刻	記 事	区 分
対 馬						

保守点検実施日：○ 機器非稼働期間：－ 特記事項区分：①欠測原因 ②高濃度などに対するコメント を記入すること。

様式第2-4 緊急業務実施結果

局 名		測 定 機		受 付 日 時	年	月	日	時	
作 業 日 時	年	月	日	時	～	年	月	日	時
状 況				原 因					
措 置				使用部品					

局 名		測 定 機		受 付 日 時	年	月	日	時	
作 業 日 時	年	月	日	時	～	年	月	日	時
状 況				原 因					
措 置				使用部品					

○PM2.5測定結果 国設（ 対馬 ）酸性雨測定所 （測定月： 年 月分） 単位（ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

欠測1	...	保守点検中	欠測2	...	異常値	欠測3	...	停電等	欠測4	...	部品交換or校正作業中
-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------------

[illegible]

○PM10測定結果 国設（ 対馬 ）酸性雨測定所 （測定月： 年 月分） 単位（ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

[illegible]

様式第 3－3

対馬国設酸性雨局 PM2.5、PM10

記入例) →

欠測	日	時間	備考
○	令和○年○月○日	○時～○時	保守点検中 (濾紙交換・等価膜校正・各部清掃)

※行は適宜追加してください。